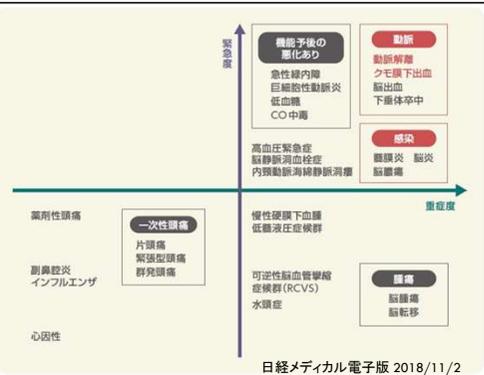


脳と神経 にゅへろガーデン新聞

「頭痛専門医が、まず否定したい」命に係わる●●。



- レッドフラッグ**
- 突然発症
 - 初発・最大
 - 嘔吐
 - 一過性意識消失の既往
 - 意識障害
 - 痙攣
 - 頸部痛
 - 痛痺
 - 激症状(頭痛、視力視野障害)
 - 座位で変化
 - 増悪する頭痛
 - 発熱
 - 経過悪化
- 重症度は「入院が必要」、緊急度は「直ちに治療介入が必要」

「目に見える頭痛」=画像でわかる頭痛疾患は重症度緊急度が高い場合ある。

危険な頭痛

私は外来で患者さんによく言いますが、実際にどのような頭痛がよくわからない方も多いと思います。一言でいうと、「いままで感じたことがないような突然の激しい強い強い頭痛」と言います。一般的には専門用語で「雷鳴様頭痛」と言いますが、皆さん、雷に打たれたことありませんか？ほとんどの方ではないと思うんです。あと、「バットで殴られたような」とも言いますが、皆さん、バットで殴られたことありますか？もしかしらバットで殴られた人の方が多いのかもしれないですが、もしそのような人がいたら、即刻110番してくださいね。さて、雷に打たれたり、バットで殴られたりするくらいは突然の激しい頭痛ということになるんですが、では、この「突然の」とは一体時間的にはどういう感じかというと、「1分以内に頭痛のピークに達する」というのが一応定義となっています。

突然の激しい頭痛の代表格の疾患が、「くも膜下出血」です。ざっくりいうと、1/3の方が死亡

1/3の方が後遺症ありで生存 1/3の方が社会復帰となりません。言い換えれば、2/3の人が亡くなるか、後遺症を負う怖い病気といえることが分かりますね。なので、もちろん、残念ながら即死される方もいらっしゃると思いますが、早急な医療介入にて一命をとりとめているのも事実ですので、突然の激しい頭痛には皆さん注意です。(もちろん、クモ膜下出血以外にも雷鳴用頭痛の疾患で「可逆性脳血管攣縮症候群」というものがあります。それはまた別の機会に。)クモ膜下出血の突然の激しい頭痛は、意識障害伴うものももちろんですが、意識障害を伴わないものでも、「思わず目を閉じてしまう様な頭痛」は要注意です。頭蓋内圧亢進や出血によ

頭蓋内圧亢進症状に伴う頭痛のメカニズムは、頭蓋底から頭蓋内へ走行している硬膜動脈やその周囲の内頸動脈が分布している神経が痛みとして察知される訳ですが、ちょうどそれは、咽頭が冷やされて上咽頭の奥の血管が収縮しているかもしれません。そう、「かき氷を食べたとき」の頭痛に似ていることになり

ます。皆さん突然頭痛が痛くなって目を閉じますよね？その、めっちゃ強い感じですよ。この強い感じ、日ごろ診療していて、個人的には、目を閉じている頭痛患者さんの中には「命に係わるかもしれない頭痛疾患」が隠れているかもしれないとアンテナを張るわけですよ。頭痛でお困りの際は、当院へお気軽にご相談ください。頭痛専門医が、まず、危険な頭痛の除外診断を行った上で、片頭痛や緊張型頭痛と言った一次性的頭痛の治療介入を計画致します。

トータルケアガーデン湘南海老名クリニック
Total Care Garden Shonan Ebina Clinic

TEL 046-244-6070 (月曜日午後土曜日午前午後)

訪問診療・脳神経外科・脳神経内科・内科・訪問リハビリテーション

〒243-0433 神奈川県海老名市河原112-30-24 ナーシングガーデン海老名1階

院長の西山です。宜しくお願い致します。

発行者
トータルケアガーデン
湘南海老名クリニック
院長 西山淳
第二号

今日の標語
突然の頭痛に注意
お母さん